

# コーパスを活用した 外来語表記のゆれに関する調査

立命館大学文学部  
小椋秀樹

Futurize.

きみの意志が、未来。



# 目次

---

## 1. はじめに

## 2. 外来語表記のゆれの調査(1)

- 外来語表記のゆれの概要
- 語末長音の表記

BCCWJ

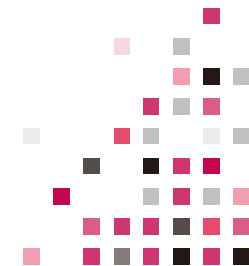
## 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

- [ei]の表記の経年変化

CHJ, SHC

## 4. 外来語表記のゆれの背景

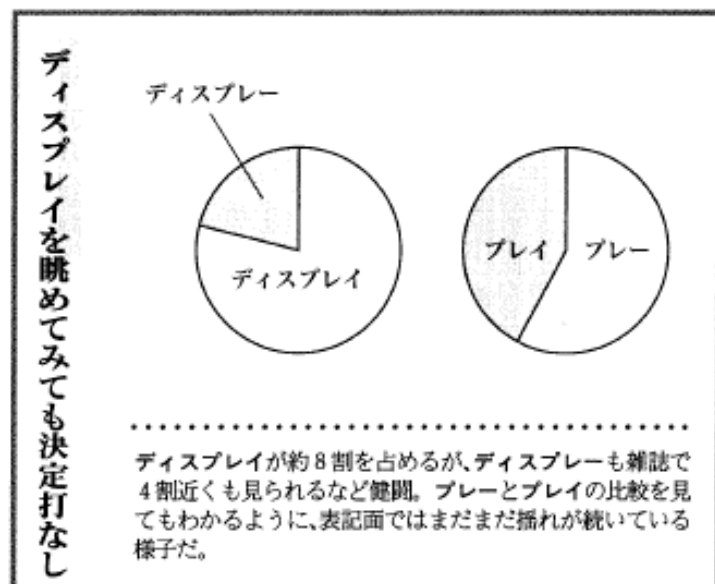
## 5. 国語施策におけるコーパスの活用



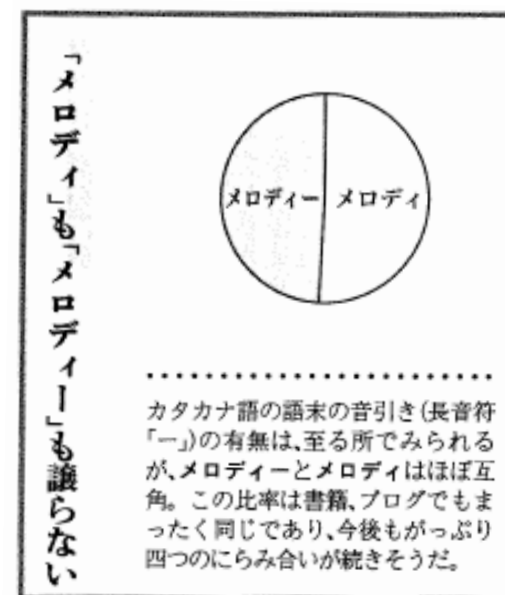
# 1. はじめに

- 外来語表記のゆれ

林巨樹・松井栄一監修 『現代国語例解辞典 第5版』 (小学館)



(p.957)



(p.1381)



# 1. はじめに

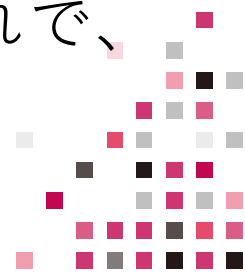
---

- 外来語表記のゆれ — 表記のゆれか発音のゆれか

- 宮島・高木（1984:44）

「ピアノ～ピヤノ」は、発音がちがうはずだが、その差は微妙である。

「ア」または「ヤ」がかいてあるからといって、そのとおり発音しているみるのは、あぶない。つまり、これは発音の差のはずだが、じつは表記の差にすぎないかもしれないのである。（「タイプライタ」とかいている人も、「～ター」とのぼして発音している可能性がないことはない。）それで、発音のゆれとおもわれるものも、純粹に表記上のゆれと区別せずに、とりあげることにした。





## 2. 外来語表記のゆれの調査(1)

---

- 資料：『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）
  - (1) 外来語表記のゆれの概要：コアデータ（人手修正済み、精度99%以上）  
雑誌、書籍、新聞、白書、Yahoo!知恵袋、  
Yahoo!ブログ
  - (2) 語末長音：雑誌、書籍、新聞、Yahoo!知恵袋、Yahoo!ブログ
  - (3) 語末長音 — 表記のゆれと発音のゆれ：書籍  
『日本語話し言葉コーパス』

## 2. 外来語表記のゆれの調査(1)

### (1) 表記のゆれの概要

表1：外来語表記のゆれ（異なり語数）

	第1表	第1表- 第2表	語末 長音	語中 長音	長音- 連母音	イア- イヤ	クス- キス	促音	撥音	清濁	その他
雑誌	7	10	10	3	14	0	0	0	1	2	6
書籍	2	4	3	0	0	1	0	0	0	0	2
新聞	1	1	5	2	5	1	0	1	1	1	3
白書	1	0	4	1	1	0	0	0	0	1	0
Web	7	7	18	3	5	2	1	4	0	0	11

第1表：アイデア-アイディア

第1表-第2表：バイオリン-ヴァイオリン

語末長音：カテゴリー-カテゴリ

語中長音：マネージャ-マネジャー

長音-連母音：メール-メイル



## 2. 外来語表記のゆれの調査(1)

### (2) 語末長音の表記のゆれ

表2：語末長音の表記（異なり語数、度数2以上）

	異なり	ゆれ	割合	ゆれなし		
				計	符号	省略
雑誌	720	136	18.9%	584	546	38
書籍	1042	259	24.9%	783	695	88
新聞	255	14	5.5%	241	238	3
Web	934	254	27.2%	680	647	33

- ・ 長音符号による表記が優勢
- ・ ゆれには、レジスターによる差異がある。

Web、書籍 > 雑誌 > 新聞

表3：長音符号を付ける表記のみ

雑誌		書籍		新聞		Web	
センター	699	リーダー	832	センター	430	サッカー	1169
ユーザー	417	サッカー	670	サッカー	224	レーザー	883
サッカー	306	マスター	506	メンバー	202	ナンバー	795
メンバー	288	オーナー	489	エネルギー	129	アンサー	516
エネルギー	267	ナンバー	387	メーカー	126	オーナー	505

表4：長音符号を省略する表記のみ

雑誌		書籍		Web	
セレブリティ	14	モニタ	132	モニタ	87
ユーザビリティ	12	セクシャリティ	94	リーダ	22
スタビリティ	8	リーダ	64	バリスタ	13
クラリティ	7	バイナリ	44	コンパイラ	8
バイナリ	7	カウンティ	41	セクシャリティ	8



## 2. 外来語表記のゆれの調査(1)

表5：語末長音の表記にゆれの見られる語

雑誌			書籍			Web		
	符号	省略		符号	省略		符号	省略
メモリー	139	140	パーティー	362	469	カテゴリー	248	251
パーティー	121	156	フィルター	294	212	プリンター	209	240
サーバー	106	87	メロディー	110	118	メロディー	113	126
バラエティー	51	60	ミステリー	80	65	バラエティー	126	111
フォルダー	46	39	コンデンサー	50	53	アダプター	86	94

※ 長音符号を付ける表記の割合：40～60%

## 2. 外来語表記のゆれの調査(1)

表6：語末長音の表記のゆれ（語末別、度数2以上）

	異なり	ゆれ	割合	ゆれなし		
				計	符号	省略
-ar	45	7	15.6%	38	38	0
-er	800	174	21.8%	626	607	19
-or	151	57	37.7%	94	82	12
-gy	42	6	14.3%	36	36	0
-dy	26	21	80.8%	5	5	1
-ry	115	36	31.3%	79	79	1
-ty	122	76	62.3%	46	12	34



## 2. 外来語表記のゆれの調査(1)

---

### (3) 語末長音 — 表記のゆれと発音のゆれ

- 石野 (1991:47-48)

〔レモンティー〕は、だれもがこのように発音していると思われるが、これを〔レモンティ〕と書く人がいる。同様に〔シティー〕と発音している人がほとんどだと思われるのに、広告などでは「シティ」を目にすることがはなはだ多い。昔、暗殺された「ケネディー」大統領の名も、大抵の人が語尾を伸ばして発音していたはずだが、マスコミは統一的に「ケネディ」と書いていた。なぜか世間には、「ティ」や「ディ」の音価を〔ティー〕〔ディー〕と誤解している人が多いようである。

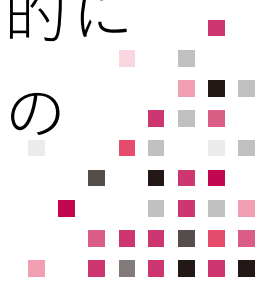


表7：語末長音の符号省略（BCCWJ・書籍、語末母音別、延べ）

	全体	ア段	イ段	ウ段	エ段	オ段
省略	16597	9145	7373	53	23	3
	17.0%	16.1%	25.1%	0.8%	1.2%	0.1%
語数	97583	56654	29341	6467	1976	3145

表8：語末長音の短呼（CSJ、語末母音別、延べ）

	全体	ア段	イ段	ウ段	エ段	オ段
短呼	1630	1204	401	11	7	7
	7.7%	9.4%	6.9%	0.7%	1.1%	1.5%
語数	21208	12760	5806	1544	617	481

- 表記と発音とで、ずれが見られる。
- 語末がア段音・イ段音の語で、ずれが大きい。  
→ 様々な語で生じているわけではない。



## 2. 外来語表記のゆれの調査(1)

表9：短呼率10%以上（語末ア段音、度数50以上）

語	度数	短呼	短呼率
ドアー	160	141	88.1%
トリガー	64	53	82.8%
クラスター	616	206	33.4%
センサー	73	13	17.8%
パラメーター	1071	187	17.5%
サーバー	69	10	14.5%
オペレーター	77	9	11.7%
コンピューター	540	56	10.4%
オーダー	50	5	10.0%

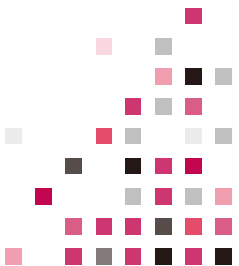
※1 異なり578語

度数50以上 50語、ゆれあり41語

※2 「ドアー」

語彙素（見出し）の表記

短呼形「ドア」を語彙素とすると、  
調査対象外。





# 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

---

- 資料：『日本語歴史コーパス 明治・大正編 I 雑誌』（CHJ）
  - ・『国民之友』（1887・1888）『太陽』（1895-1925）
    - ※『太陽』：収録期間 1901-1925年は8年間隔で4か年分
- 『昭和・平成書き言葉コーパス』（SHC）
  - ・雑誌：『中央公論』（1933-1957）『文藝春秋』（1965-2013）
    - ※SHC：雑誌、ベストセラー書籍、新聞
  - 収録期間 1933-2013年、8年間隔で11か年分
- ◆ 発音との比較『日本語日常会話コーパス』
  - [ei]の表記の経年変化 【例】 メール-メイル、プレーヤー-プレイヤー

### 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

表10：[ei]の表記の変化（延べ）

	長音		連母音	
明治	343	93.7%	23	6.3%
大正	318	90.1%	35	9.9%
昭和前期	1518	95.7%	69	4.3%
昭和後期	5357	86.7%	822	13.3%
平成	10244	84.3%	1904	15.7%

- 5期に区分：明治（1888-1909） 大正（1917-1925）、昭和前期（1933-1941）、昭和後期（1949-1981）、平成（1989-2013）

### 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

- 長音表記が主流。平成期でも連母音は約15%。

→ 高頻度語の表記が影響

表11：各期の上位3語

【明治】

	度数	長音
エーカー	39	39
メール	36	36
インスピレーション	35	35

【大正】

	度数	長音
メーデー	42	42
テーブル	39	37
プレート	38	23

【昭和前期】

	度数	長音
インフレーション	592	578
メーデー	148	148
テーブル	78	78

【昭和後期】

	度数	長音
ケース	385	385
データ	350	350
テーブル	266	241

【平成】

	度数	長音
ケース	801	801
データ	617	617
メーカー	610	610



### 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

表12：[ei]の表記の変化（異なり）

	長音		連母音	
明治	70	90.9%	7	9.1%
大正	72	85.7%	12	14.3%
昭和前期	118	82.5%	25	17.5%
昭和後期	330	70.2%	140	29.8%
平成	391	66.6%	196	33.4%

- 集計方法

【例】 メーン(5)、メイン(1)、ステーション(10)、テーブル(2)

→ 長音表記：異なり3語

連母音表記：異なり1語

### 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

表13：III期の表記（異なり、度数2以上）

	語数	%
長音	263	68.1%
連母音	87	22.5%
ゆれ	36	9.3%

- 3期に区分：I期（明治・大正・昭和前期）、II期（昭和後期）、III期（平成）

- 集計方法：

「長音」 長音表記率70%以上

「連母音」 長音表記率30%以下

「ゆれ」 上記以外

【例】 《メール》 20例

メール 15例

メイル 5例

長音表記率75%  
→「長音」



# 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

---

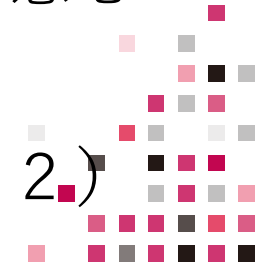
- III期に出現した度数2以上の386語の初出時期

I期：95語

II期：116語

III期：109語

※ 初出とは今回の調査範囲内。初出時期の度数2以上の語

- 勾配の坂路を往く際には、ブレーキをも掌つて、注意に注意を加へねばならぬといふ大變な役目（『太陽』、I期、1901年）
  - 南洋やタイでは起らないというのは、やはり人間のクリエイティブな意思の有無によるわけでしょう。（『中央公論』、II期、1957年）
  - 新しい作家登場という印象があった人で、『暖流』のリメイク（昭32）なんかとても印象的でした。（『文藝春秋』、III期、1989年）
- 

# 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

## ● 初出時期における表記とⅢ期における表記

表14：初出時期の表記とⅢ期の表記（異なり、度数2以上）

Ⅰ期			Ⅲ期	
分類	語数	%	分類	語数
長音	87	91.6%	長音	76
			連母音	8
			ゆれ	3
連母音	3	3.2%	長音	1
			連母音	2
			ゆれ	0
ゆれ	5	5.3%	長音	2
			連母音	2
			ゆれ	1

Ⅱ期			Ⅲ期	
分類	語数	%	分類	語数
長音	73	62.9%	長音	64
			連母音	1
			ゆれ	8
連母音	29	25.0%	長音	2
			連母音	24
			ゆれ	3
ゆれ	14	12.1%	長音	4
			連母音	7
			ゆれ	3



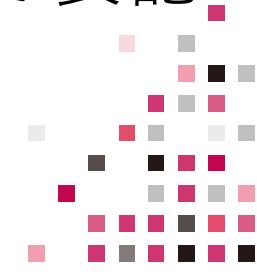
# 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

---

- 荻野 (2014:100-103)

資料：Web

対象：20語（「テークアウト」「ブレーキ」等）

- 長音表記が圧倒的に多い。
  - 長音表記か連母音表記かは語ごとに決まっており、同程度で表記がゆれている語は見られない。
  - 古い時代に日本語に入ってきた語は長音表記される傾向。
- 



# 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

---

- 変化の要因 — 発音との関係 —

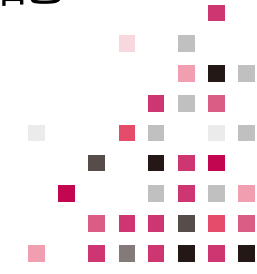
- 宮島・高木（1984:55）

「原音が2重母音という意識があるとき」に連母音表記

- 佐竹（1986:416）

連母音表記は、「長音でないという意識が強いことの証明で」、

「そのような意識が強いというならば、長音符号と母音表記との対立は、もはや長音表記のしかたのゆれではなく、発音のゆれの問題となる。」





# 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

---

- 変化の要因 — 発音との関係 —

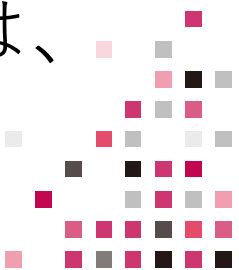
- 岡田（2004） 資料：『日本語話し言葉コーパス』  
対象：原音で[ei]がある英略語、外来語

- 外来語では、長母音[e:]で実現される傾向

外来語 1679例 [ei] 125例（6.9%）

- /ei/+/N/という音節構造（「メーン」「レーン」等）では、  
連母音[ei]で実現される傾向

外来語 56例 [ei]54例（96.4%）





# 3. 外来語表記のゆれの調査(2)

---

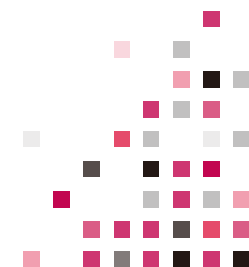
- 変化の要因 — 発音との関係 —
  - ・ 『日本語日常会話コーパス』

表15：[ei]の発音（延べ）

	用例数	%
長音	2994	93.9%
連母音	195	6.1%

表16：[ei]の発音（異なり）

	用例数	%
長音	278	95.9%
連母音	12	4.1%








## 4. 外来語表記のゆれの背景

---

- 『外来語の表記』（1991年、内閣告示第2号、内閣訓令第1号）
- 留意事項その1（原則的な事項）

3. 「ハンカチ」と「ハンケチ」，「グローブ」と「グラブ」のように，語形にゆれのあるものについて，その語形をどちらかに決めようとはしていない。

4. 語形やその書き表し方については，慣用が定まっているものはそれによる。分野によって異なる慣用が定まっている場合には，それぞれの慣用によって差し支えない。





## 4. 外来語表記のゆれの背景

---

- 留意事項その2（細則的な事項）

Ⅲ 撥音，促音，長音その他に関するもの

3 長音は，原則として長音符号「ー」を用いて書く。

〔例〕 エネルギー オーバーコート グループ ゲーム ショー  
テーブル パーティー（以下略）

注1 長音符号の代わりに母音字を添えて書く慣用もある。

〔例〕 バレエ（舞踊） ミイラ





## 4. 外来語表記のゆれの背景

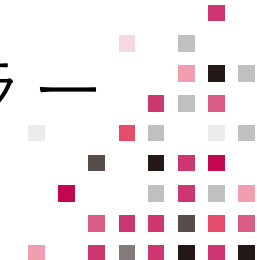
---

注2 「エー」「オー」と書かず、「エイ」「オウ」と書くような慣用のある場合は、それによる。

〔例〕 エイト ペイント レイアウト (以下略)

注3 英語の語末の-er, -or, -ar などに当たるものは、原則としてア列の長音とし長音符号「ー」を用いて書き表す。ただし、慣用に応じて「ー」を省くことができる。

〔例〕 エレベーター ギター コンピューター マフラー  
エレベータ コンピュータ スリッパ





## 4. 外来語表記のゆれの背景

---

- JIS Z 8301：2008 規格票の様式及び作成方法

- 外来語語末長音の表記

- a) 専門分野の用語の表記による。

- b) 規格の用語及び学術用語にない用語の語尾に付ける長音符号は、表G・3による。

- 長音符号を除いた部分の拍数 3拍以上…付けない（エレベータ）

- 2拍以下…付ける（カバー）

- JIS Z 8301：2019 規格票の様式及び作成方法

- 外来語の表記：主として『外来語の表記』による。





## 4. 外来語表記のゆれの背景

---

- NHK 放送用語の基準

- 山下 (2015, 2016)

give-and-take, take out, nature, age, taste など

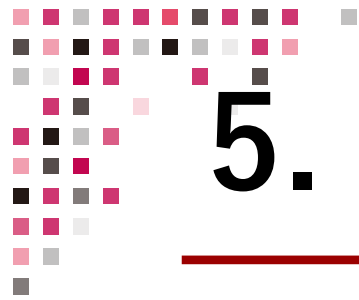
→ 連母音表記を採用 例：ギブアンドテーク→ギブアンドテイク

- 『読売新聞』 用字用語の基準

- 読売新聞社 (2014)

main event      メーンイベント→メインイベント





# 5. 国語施策におけるコーパスの活用

---

- 「国語施策は、空気のようなものでなければならない」

（氏原基余司 元主任国語調査官）

→ 日本語の今の姿を捉えることが必要。

- 実態調査

「改定常用漢字表」 文化庁「漢字出現頻度数調査」（書籍、新聞、Web）

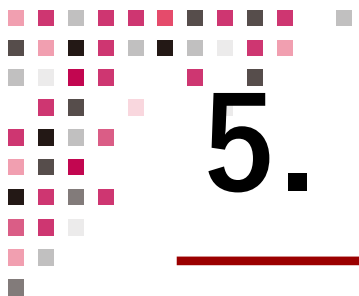
同 「出現文字列頻度数調査」

国立国語研究所 BCCWJ（出版・書籍、1730万語）

- 意識調査：国語に関する世論調査

「改定常用漢字表」 追加候補漢字に対する印象


「改定ローマ字のつづり方」 ローマ字表記に関する意識



# 5. 国語施策におけるコーパスの活用

---

- 日本語の今の姿を捉える。
  - 現代のような変化の激しい時代にあっては、「言葉に関する施策」についても、定期的な見直しが必要である。（中略）定期的・計画的な漢字使用の実態調査をしていくことが重要である。（「改定常用漢字表」p.(16)）
  - BCCWJ：主要なデータは、2005年まで
    - 「日本語の今の姿」を捉えるためには、拡張が必要
  - BCCWJ2：書籍（2006-2025）、教科書、SNS/CMC
    - 「日本語の今の姿」+どのような変化を経て今の姿があるか。
  - 継続的な拡張による言語の使用実態の把握が必要



# 5. 国語施策におけるコーパスの活用

---

- 単語情報の活用

- 表記に関する基準：語という観点からの実態調査が必要
- 国立国語研究所のコーパス：形態論情報、特に短単位情報の活用

→ 漢字：どのような音訓で、どのような語（語の構成要素）の表記に、どのくらい使われているのか。

外来語：音の表記と合わせて、どのような語に、どのような表記が、どのくらい用いられているのか。





# 参考文献

---

- 岡田祥平（2004）「『日本語話し言葉コーパス』に観察される母音連続/ei/のバリエーションー外来語の場合ー」、  
『電子情報通信学会技術研究報告〔音声〕』104-148、pp.35-40
- 荻野綱男（2014）『ウェブ検索による日本語研究』、朝倉書店
- 小椋秀樹（2013）「現代日本語における外来語表記のゆれ」、相澤正夫編『現代日本語の動態研究』、おうふう、  
pp.151-171
- 小椋秀樹（2014）「外来語語末長音の表記のゆれについて」、『論究日本文学』102、pp.1-12
- 小椋秀樹（2024）「明治期から平成期にかけての外来語における[eɪ]の表記」、「通時コーパス」シンポジウム  
2024
- 佐竹秀雄（1986）「外来語表記法の問題点」、宮地裕編『論集 日本語研究（1）現代編』、明治書院、pp.407-422
- 宮島達夫・高木翠（1984）「雑誌九十種資料の外来語表記」、『国立国語研究所報告79 研究報告集』5、pp.43-76
- 山下洋子（2015）「外来語の発音・表記について～用語の決定～」、『放送研究と調査』65-5、pp.86-93
- 山下洋子（2016）「用語の決定」、『放送研究と調査』66-4、pp.86-95
- 読売新聞社（2014）『読売新聞用字用語の手引き 第4 版』、中央公論新社
- 